

「あゆみ」では表せないもの



猛暑がようやく終わりを告げ、秋の涼しさを感じる季節となりました。前期終業式では、自分が頑張ってきたこと、皆で協力して頑張ったことについて話しました。子供たちからは、国語の漢字や算数の計算など、学習面で頑張ったという声が多い中、「けんかをしなくなった。」や、「友達に優しい言葉をかけるようになった。」という声も聞かれ、心の成長を感じました。また、みんなで力を合わせて頑張ったことは、朝の歌や理科の実験、スポーツフェスタや応援団、農山村留学や移動教室、委員会活動や係活動などの声がありました。1年生は、「給食当番ができるようになった。」と笑顔で教えてくれました。一つの目標に向かって皆で協力し合うことも学校の大切な勉強の一つです。改めて、子供たちの「自ら学び伸びようとする」姿に拍手を送りたいと思います。

通知表に記されている「あゆみ」という言葉には、一人で「歩く」という意味と、みんなで心を合わせて歩く「歩調」という意味があります。どちらのあゆみも大切です。子供たちが頑張ってきたことは、あゆみの◎や○の数では表せません。大切にしてほしいのは、できるようになりたいと努力したことです。努力の積み重ねが自分を成長させてくれます。

学校でも子供たちが更に成長するように教育活動を進めてまいります。保護者の皆様には、後期も引き続き学校教育にご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長